

成年女子フルーレで優勝した秋田県チーム（左から伊藤信子選手兼監督、平田京美選手、大友慧選手、高橋南選手）



少年男子フルーレ決勝、対神奈川戦。果敢に攻める松岡選手（秋田県）。この後トゥシェ（突き）が決まりガッツポーズ



競技結果

少年女子（フルーレ）

成績	県名	メンバー名
優勝	富山県	上野、原、山崎
2位	埼玉県	草野、中野、森岡
3位	北海道	吉田、加藤、河崎

成年女子（フルーレ）

成績	県名	メンバー名
優勝	秋田県	伊藤、平田、大友、高橋
2位	群馬県	田島、吉澤、松井、小田嶋
3位	東京都	寺下、遠藤、戸田、神尾

少年男子（フルーレ）

成績	県名	メンバー名
優勝	秋田県	佐藤、伊藤、松岡
2位	神奈川県	新井、三宅、鈴木
3位	富山県	本保、高木、倉田

成年男子（フルーレ）

成績	県名	メンバー名
優勝	神奈川県	斉藤、大久保、渡邊、目黒
2位	東京都	下田、奥、岡野、大澤
3位	和歌山県	森、山口、坪井、向竹

成年男子（エペ）

成績	県名	メンバー名
優勝	大分県	持田、渡部、岩田、中村
2位	京都府	石橋、飯村、小林、徳井
3位	福井県	阪野、田中、見延、田端

成年男子（サーブル）

成績	県名	メンバー名
優勝	大分県	持田、渡部、岩田、中村
2位	茨城県	永野義、永野広、坂本、広瀬
3位	和歌山県	森、山口、坪井、向竹



成年男子フルーレ3回戦、対香川戦。相手選手に果敢に攻める柿沼選手（秋田県）



常陸宮同姫両殿下が競技をご覧になりました



少年男子優勝の瞬間は観客が総立ちとなりました



あいかわ保育園の年長組37人は選手団をお茶でおもてなしました



三木田民泊協力で行われた北海道チームの歓迎会



少年男子フルーレで優勝した秋田県チーム（左から鈴木健一監督、佐藤樹選手、伊藤心選手、松岡慧選手）



少年男子フルーレ優勝
成年女子フルーレ優勝

—フェンシング競技II合川体育館—

第62回国民体育大会（秋田わか杉国体）フェンシング競技が10月5日から9日までの5日間、合川体育館で開かれ、少年男子・成年女子フルーレが見事優勝を飾りました。

フェンシングは、剣を持った選手が1対1で時間内に互いを攻撃し、相手をついた数を競う競技。剣の違いによって「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3つの種目に分かれ、成年男子3種目の団体戦（1チーム3人編制）と成年女子及び少年男女フルーレの団体戦が行われました。

出場したチーム数は、成年男子が47チーム。成年女子と少年男女は、それぞれ全国9ブロックからの17チームに秋田県を加えた18チーム。合計で、101チームが参加しました。

本市からは、少年男子に松岡慧さん（合川高校）、成年男子に柿沼高士さん、清水宏太さん、斉藤有さん、工藤伸也さん（合川高校出身）が出場し、少年男子フルーレは5年ぶり10度目の優勝、成年男子は、フルーレ3回戦、エペ2回戦、サーブル3回戦で敗退。また、少年女子フルーレは1回戦で敗退、成年女子フルーレは18年ぶり6度目の優勝を決めました。

少年男子フルーレで優勝した松岡さんは「1勝1敗となりプレッシャーはあったが、勝ちたいという気持ちがあった。地元の声援が自分への助けとなった。国体だけでなく、色々な大会で勝ち、合川高校と北秋田市の名前を全国で有名になるようにしたい」と優勝の気持ちを語ってくれました。

三木田民泊協力会（三浦淳蔵会長）では、6日に北海道チームへの歓迎会を行い、きりたんぼやだまこなど郷土料理で選手らを歓迎。合川地区伝統のまともも行われました。

北海道選手団のみなさんは「民泊は不安だったが、受入先に温かく迎えられる、また、新鮮でおいしい家庭の料理を頂いた。子どもたちは、人の出会いの大切さを知ったのでは」、「水害に遭われたのにこのように温かく迎えられる大変感謝している。自分だったらこのようにできたか不安」、「私たちはこの経験を絶対に忘れない。これからもよろしくお願ひしたい」とそれぞれ感想を述べてくれました。